リスキリング関連の主な施策　一覧　（R8.10.14時点）

資料４

支援対象：企業

〇第四次産業革命スキル習得講座認定制度　経済産業省
IT、データ活用等の分野において、キャリアアップに繋がるような専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定。

〇デジタル人材育成プラットフォーム　経済産業省・デジタル庁
（情報システム関係経費の内数で要求）
戦略17分野等を念頭にAI・デジタル関連スキル・資格等の可視化・証明のための基盤を整備。

〇地域デジタル人材育成・確保推進事業（令和9年度概算要求額28億円）
マナビDX等デジタルスキル標準に基づく各種デジタル人材育成施策の実施。

〇人材開発支援助成金　厚生労働省
（令和9年度概算要求額602億円）
雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能を習得させるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業への支援を実施。

〇キャリア形成・リスキリング推進事業　厚生労働省
（令和9年度概算要求額43億円）
労働者のキャリア形成やリ・スキリングの取組を促すための相談支援事業の拡充。

〇生産性向上人材育成支援センター　厚生労働省
（令和9年度概算要求額580億円の内数）
中小企業等に対する人材育成に関する相談、人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで一貫して支援する総合窓口。

〇中小企業リスキリング支援事業　厚生労働省
（令和9年度概算要求額2.6億円）
中小企業の人材育成等に関する専門的な助言・指導による支援。

〇成長戦略分野等における検定創設等支援事業　厚生労働省
（令和9年度概算要求額1.6億円）
成長戦略分野等について、労働者のスキルを見える化し、職業能力評価制度の効果的な活用を図る観点から技能検定及び団体等検定の創設やアップデートを支援

支援対象：個人

間接事業者（大学含む）経由

〇リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業　経済産業省
（令和4年度補正753億円、令和5年度補正97億円）
個人に対して、キャリア相談からリスキリング、転職までを一体的に支援する仕組み整備に要する費用を民間事業者経由で補助。

〇中小企業大学校における経営者・経営幹部リスキリング　経済産業省
（令和9年度概算要求額6,980億円の内数）
中小企業大学校で、経営者・経営幹部を対象にした、財務・会計、経営戦略、組織マネジメントなどの実践的な研修を提供。

〇産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業　文部科学省
（令和7年度補正22億円）
大学等が地域や産業界と連携し、人材育成ニーズを踏まえたリ・スキリングプログラムを開発・提供することを支援。

〇「GRIT」～成長分野等におけるリ・スキリングの戦略的推進～　文部科学省
（令和9年概算要求額702億円）【新規】
産学官連携による短期プログラムの開発・提供や全学的な体制整備、専門学校の教育内容の高度化や環境整備等を支援することで、実践的専門人材の持続的供給基盤を構築。
・成長分野等におけるリ・スキリングプログラム開発事業（令和8年当初予算案337億円）
・「学び続ける社会」の実現に向けた大学の全学的体制整備支援（令和8年当初予算案210億円）
・産学連携リ・スキリングによる社会人修士・博士育成事業（令和8年当初予算案53億円）
・専門学校を活用した実践的な職業人材の高度化（令和8年当初予算案102億円）

直接給付

〇教育訓練給付金　厚生労働省
（令和9年度概算要求額478億円）
自らデジタル分野等のスキルアップに取り組む個人への直接支援を拡充し、給付率を令和6年10月に最大8割に引き上げ。

〇教育訓練休暇給付金　（令和9年度概算要求額102億円）
雇用保険被保険者が教育訓練のための休暇を取得した場合に、生活を支えるための給付金を支給する制度を令和7年10月より施行。

〇リ・スキリング等教育訓練支援融資　厚生労働省
（令和9年度概算要求額1.6億円）
雇用保険被保険者以外の者が、教育訓練を受けるに当たって必要となる教育訓練費用及び生活費を融資する制度を令和7年10月より施行。

PF
- マナビDX（デジタル人材）
- マナパス（大学等の学び）
- 学び・学び直しGL（職場における学び）
- job tag（職業に関する総合的な情報発信）